

実践報告資料

研究テーマ『児童の自尊感情を育み、心豊かにたくましく生きる力の育成』

～自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることをめざして～

研究内容【(1)、(2)、(3)、(4)】

学校名 (尼崎市立難波小学校)

ア 人権教育としてのねらい

教育活動全般を通して、児童や保護者の人権に関する知的理解や人権意識を高め、児童の自尊感情や自己有能感、規範意識を高める。

イ 研究の概要

人権教育を学校教育全体の中で、明確に位置づけ「自尊感情・自己有能感の伸長」「保護者への啓発」「基礎学力の向上」を柱とし、全教職員で取り組む。また、自他の良さを認め合い、一人ひとりを生かす教育を進め、それぞれが居心地のよい学級・学校づくりをする。

領域	教科	道徳 (特別の教科 道徳)	特別活動	総合的な学習の時間
指導者	4年担任 1年担任	全学級担任	全教職員	推進教員
実施日	11月9日 12月3日	12月6日～10日	6月・11月・2月	5月20日
取組名	プラタナスの木 じどう車ずかんをつくろう	人権週間	ハッピーハート活動	「ネット依存」について考えよう
目標	「できる」「わかる」授業により、学力と自己有能感の伸長をはかる。 (教科の目標は様式2参照)	自分を大切にするとともに、他の人を大切にするなど、豊かな人間関係づくりを含む人権感覚を育成する。	友だちの良さを見つけることで、豊かな人間性を育て、調和のとれた人格の形成を図る。	健康で健全な成長を守るための行動を実践しようとする態度を育てる。
資料名	光村図書4年下「プラタナスの木」 光村図書1年上「じどう車ずかんをつくろう」	各学年で複数使用	/	中日新聞記事 朝日新聞記事
指導内容や指導方法の工夫等	めあてを立てて学習し、振り返りを行うことを徹底する。 評価規準を明示し目標に向かって学習させる。 写真・動画・具体物などを効果的に活用し「わかる」授業をめざす。	期間中、人権学習を実施する。 「ハッピーハート」活動を実施し、掲示する。 図書室に国際理解に関する本のコーナーを設置する。 人権週間の最終日(10日)を人権参観日とし、全クラスで実施する。	ハッピーハートカードに、友だちの良いところを記入し、回収する。 回収したカードを模造紙に貼り教室前に掲示する。 終了後に各クラスから1点を選び、紹介の放送を行う。 人権便りで保護者にも紹介し、啓発を行う。	ネット依存度を調べ、ネット依存の症状を理解する。 2つの新聞記事を読み、問題点を考える。 どうすればネット依存にならないのかを考える。 持ち帰ったワークシートをもとに家庭でのルール作りを進める。